

# 上越、妙高市と長野14市町村

上越、妙高の県内2市と長野市を含む長野県内の14市町村は2011年度、「観光圏」認定による広域観光の整備に乗り出す。長野新幹線や14年度に開業が予定される北陸新幹線の沿線を一つのエリアに見立て、それぞれが得意とする観光資源を生かして首都圏などから誘客を図る。

上越市は16市町村の中で唯一海を持つ。上越市観光振興課は「長野北信地域」とはこれまで交流がある。北陸新幹線開業に向けて、互いに観光地としての魅力を高めていきた

観光圏は2泊3日以上滞在できる観光地域の形成を目的とした観光庁の事業。16市町村は12年度の認定を目指し、11年度は協議会を立ち上げる。

既に上越市を除く15市町村は「信州北回廊プロジェクト」と題して観光パンフレットを作製し首都圏でPRに努めてきた。長野市には日本有数の観光名所、善光寺がある。

## 「観光圏」認定へタッチ

協議会設立に新幹線沿線で一体化

観光圏は2泊3日以上

滞在できる観光地域の形

い」、長野市観光課は「上

越の海は長野の海ともい

われる。観光コンテンツ

が増えれば周遊する観光

携を期待する。

観光圏のメリットとし

て、域内限定の旅行商品

を宿泊業者が代理販売で

きたり、各種手続きが緩

和されたりするといった

点が挙げられる。現在、

村上市が加わる「日本海

きらきら羽越観光圏」な

ど45地域が認定を受け、

さまざまなソフト事業が

展開されている。